

単元名 箏曲や尺八曲の多様な表現を鑑賞しよう

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解することができる。
- (2) 箏や尺八の音色や調弦による響き、音楽の構造などの特徴とその多様性を理解したり生かしたりしながら、箏曲と尺八曲との共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。
- (3) 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組もうとする。

標準的な展開例

10260206_001

【教材名】六段の調 鹿の遠音 ◆日本とアジアをつなぐ音 (P. 48～P. 53)

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 箏の音色、奏法と表現の特徴を聴き取り、箏曲「六段の調」が段物による構造であることを理解して、曲想の変化を感じ取りながら鑑賞する。</p> <p>★箏曲「六段の調」を聴こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○箏の発音原理や奏法に着目しながら箏曲「六段の調」の初段を鑑賞する。 ○初段冒頭をP. 49の唱歌を表現しながら鑑賞し、後押しや引ききなどの奏法と関わる音色の変化や旋律の装飾を聴き取る。 ○段物について理解し、曲想の変化を感じ取りながら聴き取った各段の表現の特徴をワークシートにまとめる。 ○ワークシートの内容を交流し、再度鑑賞して自分のワークシートを整理する。 <p>2 尺八曲「鹿の遠音」が日本の尺八によって表現されることを理解し、曲想を感じ取りながら鑑賞する。</p> <p>★尺八曲「鹿の遠音」を聴こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本の尺八による表現、尺八の発音原理や奏法などに着目しながら尺八曲「鹿の遠音」を鑑賞する。 ○箏曲「六段の調」と比較しながら鑑賞し、気がついたことをワークシートにまとめて交流する。 <p>3 箏曲「六段の調」と尺八曲「鹿の遠音」の特徴や多様性について理解して鑑賞する。</p> <p>★箏曲と尺八曲を聴き比べてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○もう一度尺八曲「鹿の遠音」を鑑賞し、箏曲「六段の調」と尺八曲「鹿の遠音」の特徴をワークシートにまとめる。 ○整理した内容を発表し合い、それぞれを鑑賞してよさやおもしろさについて考え、再度ワークシートを整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「平調子」とその構成音を理解し、箏またはピアノなどで響きを聴き取らせる。 ・デジタル教科書を活用して唱歌を確認しながら表現させる。 <p>【評】段物による構造などの箏曲の特徴について理解して鑑賞する活動を通して、「知識」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の演奏者の表現や、生田流と山田流の表現を聴き比べさせる。 <p>【評】比較鑑賞から共通性や固有性を考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて尺八の種類、奏法、基本となる音階などについて補足説明する。 <p>【評】音色や響き、音楽の特徴を考えながら比較鑑賞する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】箏と尺八の特徴をまとめる活動を通して「知識」を評価する。</p> <p>【評】音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考える活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】

「六段の調」では、箏の発音原理や様々な奏法などに着目し、音楽の構造となる「段物」による構成を理解して鑑賞する。そして、楽曲全体の曲想や各段の曲想の変化を感じ取りながら箏曲の特徴を理解し聴き深める。また、Let's Try!で箏の演奏を体験したり「鹿の遠音」と比較鑑賞したりすることで、我が国の音楽の多様性を理解する。さらに、「日本とアジアをつなぐ音」ではグージョン（古箏）やカヤグムと比較し、共通性や固有性からそれぞれの特徴を理解する学習へと発展させる。

【共通事項】音色・リズム・速度・旋律・テクスチャ・構成